

5月申請書の提出日

5日(金) 9時～17時

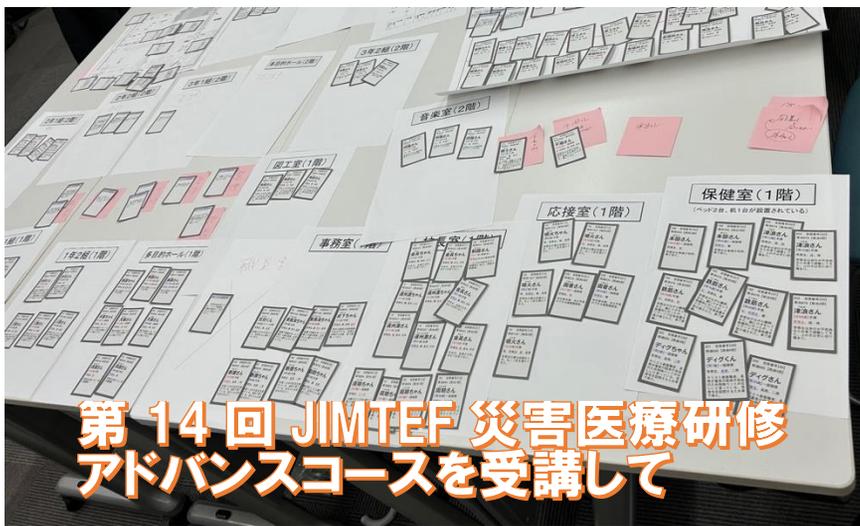
6日(土) 9時～16時

※郵送の場合は期日指定でお願い

定時総会

5月21日(日) 13時～

本会会館



3月18日(土)・19日(日)の日程で「JIMTEF 災害医療研修アドバンスコース」を受講した。場所は東京都神保町駅の南にある日本教育会館。JIMTEFとは「国際医療技術財団」の総称。今回の講習会は我々「柔道整復師」の他、理学療法士・作業療法士・臨床心理士・鍼灸マッサージ師・薬剤師等、多職種が1テーブルに着座しディスカッション形式にて受講するスタイル。研修内容は「発災から急性期の対応」や「避難所運営・本部運営」「災害食」など。

実際の内容は『現在は発災後〇〇時間経過、我々は災害対策本部にいる状況。〇〇県JMAT到着した。他にも〇〇県JPATやJRAT到着』『〇〇小学校からの負傷状況報告』実際にどの団を派遣するか?など緊迫感ある研修であり、精神的に疲労したのは事実。

空き時間にてDJAT(災害派遣柔道整復チーム)塩見隊長と意見交換をさせていただいた。北海道小樽市にて「しおみ接骨院」を開業されているが、2月6日(月)トルコ共和国にて発生した大規模な地震に対し、トルコ共和国政府から要請がありJICA国際緊急援助医療チーム第1次隊メンバーとして2月12日～3月2日までの3週間、被災地にて医療活動を実施してこられた。現地には理学療法士らも派遣されたが、医師より災害救護活動に対して柔道整復師への評価が高かったとお話をしていただき、徒手整復術を含めた手技療法や固定術を得意としている我々の今後の活躍など、数分であったが柔整の未来を感じる意見交換の時間は貴重であった。また個人的には・・・最近の不祥事にて行政の信頼を失っているであろう我々の業界・・・このような人道的活動を継続する事で信頼回復に直結するのでは・・・と感じた。

災害救護

日整災害時救護チーム

DJAT
Disaster JudoTherapist Assistance Team



公益社団法人日本柔道整復師会は、柔道整復師が国民に果たすべき使命を背景とし、柔道整復師の救護活動をより一層統制のとれた有効な活動とするため、また、大地震に備えた準備の一環として、2014年に日整災害時救護チーム・DJATの立ち上げに着手した。

災害 (Disaster) 柔道整復 (JudoTherapy) 支援 (Assistance) チーム (Team) の頭文字を使ったネーミングで「ディジャット」と発音する。

急性外傷処置の専門家である柔道整復師。ライフラインの途絶えた被災地での救護活動の際、生命の危険が無く治療の緊急性が低いと診断された被災者に対して最低限の応急処置を行うことで災害関連死を防ぎ、より多くの被災者の回復を早めることができるようになる。今後はDMATや被災地の医療機関との連携方法など、多職種とのチーム作りが課題のように感じ講習会を終えた。

(事業部長 石川 益郎)



氏名	支部名	施術所名
三根 洸輝	岡崎支部	しぶや接骨院
石川 蓮	岡崎支部	石川接骨院
古田 匠	熱田支部	高畑駅前接骨院

介護のご相談は
愛柔整介護ステーション

管理者 平岩 治郎 (直通) 052-602-6660